

大 野 一 心

NO. 9

令和4年6月3日（金） 文責：校長 諸熊 修一

いのちを見つめる強調月間

今年も6月1日がやってきました。今から18年前の平成16年6月1日に子どもたちにとって安全安心でなければならない学校で、起きてはならない事件が起きてしまいました。生徒の皆さんが、まだ生まれていない頃です。その当時のことを私は鮮明に覚えています。全国のニュースや新聞に「佐世保」という地名が何度も取り上げられたり、週刊誌の中には興味本位で事件のことを取り上げたりする雑誌もありました。

このような事件を今後、起こしてはならないという決意と願いをこめて、市内全ての小中学校で「いのちを見つめる強調月間」が始まることになりました。そういう取組を進めていた中で、8年前の平成26年7月に佐世保市内の学校において、また痛ましい事件が起きました。事件から得た教訓は、決して風化させてはなりません。

講話では、「いのちを見つめる写真」「幸せを見つめる写真」を見せながら、この写真に共通することは何かを考えることを通して「命の大切さ」「生きるとはどういうことだろう」ということについて考えていきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、昨年度と同様、全校集まっただけの講話ではなく、1時間ごとに時間をずらしながら学年ごとに実施をしました。

講話後には、全校生徒に感想を書いてもらいました。すべての子どもたちの感想を読ませてもらいました。感想の中には、自分の家族のことを書いてくれたり、亡くなった友人のことを書いてくれたりした人もいて、私自身が感想を読ませてもらいながら「いのち」や「生きる」ということについて考えさせられました。

たくさん紹介したいのですが、各学年1名ずつ紹介したいと思います。

授業後の生徒の感想

1年 Iさん

写真に共通することを考えて、自分の考えを持つことができました。いのちを見つめる写真では、「いのちの輝き」を感じることができました。私の幸せの写真では写真の方から、とても幸せである様子がとても伝わってきました。日常のささいなことに幸せを感じている写真が多いなと思い、何気ない日が幸せなのだと思います。また、最後の作文では「ぼく」が生きていることに幸せを感じていてすばらしいなと思いました。私も、親に感謝の気持ち



を忘れずに生きていきたいです。

「いのちはなぜ美しいのか」という問いに、私は「一人一つのものであり、輝くことができるから」だと思います。オリンピックの選手はスポーツという分野で人に感動を与えています。このように、人は努力することで命が輝けると思います。だから、私も何かの形で、命が輝くように頑張りたいです。

これから私は、クラスのみならず、クラスが楽しいと思えるようなクラスを目指して頑張りたいです。この授業を通して、「いのちの大切さ」を改めて感じることができました。これからの生活に役立てたいです。

2年 Nさん

いろいろな写真が出てきて、動物も人間も同じで一つ一つの命が大切なのだと実感しました。コロナが流行（はや）り始めて、何人、何万人以上の方が亡くなっていて、それに自殺などで亡くなれる方もいて、周りの人が亡くなったり、自分の命が危険な状況にならないと本当の大切さが分からないのではないかと思います。



「命は美しい」というセリフを見て、校長先生が「命が美しいとはどういうことか？」と質問されたとき、私は最近読んだ本の内容を思い出しました。その本には「死にたいんじゃない、生きてのにつかれちゃっただけ」と書いてあったり「逃げるのにも力があるから、力がなくなる前に逃げる」的なことが書いてあり、相手や自分の命を奪うのは簡単で、いろいろな方法があるのに、助けてあげるのは難しいことなんだと感じました。もう一つこの本で心に残ったのは、自殺をしようとしている人を見て、主人公たちが話し合った内容です。「その人を止めた後は、またその人は辛い世界を生きていかないといけない。生き地獄じゃないか」というものです。周りにそういう困った人がいたら頼って助けを求めてほしいけど、まずは、頼ってもらえるように自分を変えて、それをどんどん広めていきたいです。

辛くなる環境を作るのではなく、壊し、全員が過ごしやすい環境を作っていきたいです。命の大切さを理解することができました。

3年 Nさん

校長先生の講話を通じて、命の美しさ、大切さ、命に注がれる、たくさんの愛について考えました。「いのちを見つめる写真」と「幸せを見つめる写真」の共通点は、写真を撮られる人と撮る人、お互いにある、愛のつながりだと私は考えました。そして、「命が美しい」理由は、まぎれもなく、人、自然の中にある純粋な愛だと思います。愛を送り、愛を受け取り、愛でつながることで、命の美しさ大切さに気付くことができるのだと思います。私は今まで生きてきた14年間、たくさんの人からたくさんの愛を受け取って育ったことに深く感謝します。

そして、与えられるだけではなく、私もたくさんの人にたくさんの愛を送りたいと思います。命の形はみんな違うけど、なくなっていい命は一つもないと改めて思いました。なので、今後今まで以上に命について考え、周りの命、自分の命を大切に「いのち」という奇跡に感謝して生きていこうと思います。今日は、ステキな講話をありがとうございました。

本校ホームページにも様々な情報が掲載されています。どうぞご覧ください。